

事業実績報告書

様式 2
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-01	講座名	ごきそテクノカフェ
記載日		団体名・企業名	名古屋工業大学ごきそ技術士会

〈講座全体の概要〉(300字程度)

「SDGsに取り組むごきそテクノカフェ」と銘打って2020年前期は6回の座学を企画し、技術者と市民との交流の場の提供を企画した。実社会での働き方改革や経済活動の激変、貧困な社会基盤の中小の国々での人々の悲惨な状況がいきなり鮮明になりつつある今こそ、SDGsを展望することを急務と考えた。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全6回のうち、4回を中止、2回をオンラインで実施した。

オンラインでの実施においても、従来の対面による講座と変わらず、多くの皆様にご参加を頂いた。



※写真1の説明

第6回の山中清先生によるご講演の様子
(zoomによるオンライン実施)

※写真2の説明

第6回のオンライン実施の様子(伏見ライフプラザ13階エコパル名古屋より配信)

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

7月開催からzoomを利用したオンライン開催を実施しているが、それに先立ち、7月11日に試験的にJR鶴舞駅高架下商店街の「喫茶サンデン」からの試験配信を実施した。しかし、Wi-Fiルーターを利用した、鶴舞駅高架下商店街からの配信は、通信状態の悪さという技術的課題に直面し、急遽7月18日と9月19日の配信はなごや環境大学実行委員会事務局にご協力頂き、伏見ライフプラザ13階のエコパル名古屋からの配信とした。写真1と写真2は9月19日の配信の様子。通信環境が良ければzoomによる配信も、対面による配信と同様に実施でき、市民と技術者との交流に寄与できると感じられた。ただ、市民のなかにはzoomを使ったオンライン配信へのハードルも高く、オンラインでの開催に参加することが誰でも容易にできるということを私たちとなごや環境大学実行委員会事務局の皆さんと一緒にPRしてゆくことは重要だと感じた。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

コロナ感染防止、災害対応、将来の生き方等はすべての人があるべき姿や最善策とそれに向けた対応策を自覚した自己責任での行動と迅速性が必要です。我が国の置かれた状況を確実に把握できる情報の提供がさらに求められますが、技術者として何をすべきかを考える時間を頂いたことに感謝しています。これからは具体策についての議論が必要です。(7月18日)

コロナ渦を受けての今後の都市環境の課題について認識できた。(9月19日)

航空機製造及び開発技術とSDGsの関連性が理解できた。(9月19日)

リモート講座であったが、音声、スライドとも明瞭で受講しやすかった。(9月19日)